

2024年10月21日

各 位

会 社 名 株式会社ダイキアクセス
 代 表 者 名 代表取締役社長CEO・CIO 大 亀 裕 貴
 (コード：4245 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 常務取締役CCO 本 田 和 博
 (TEL：089-927-1122)

海外における案件の進捗状況および各国の現状について
【2024年12月期第3四半期】

株式会社ダイキアクセス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕貴）の海外現地法人における大型案件の進捗状況等につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記



DAIKI AXIS INDIA PVT. LTD. <インド>

① Indian Railway：インド国有鉄道「駅リニューアルプロジェクト」【2024年3月公表済】

デリー周辺10駅への浄化槽納入状況につきまして、現時点で円筒槽全24本の内、16本納入済。残り8本は2024年10月出荷予定となっております。

また、インド商工会議所連合会（The Associated Chambers of Commerce & Industry of India）が主催した鉄道近代化全国会議へ、DAIKI AXIS INDIA PVT. LTD. からCEO兼取締役カマル・ティワリが出席し、インド国有鉄道が定めた「2030年までに温室効果ガス排出量ゼロ」目標達成に向けて、排水処理システムが果たす役割について講演を行いました。

「駅リニューアルプロジェクト」による駅舎への浄化槽設置等、ダイキアクセスの浄化槽技術を通じてインドの環境保全に貢献する具体的な方法を強調することで、浄化槽への理解を深めていただきました。



② ガンジス川浄化計画【2022年3月公表済】

2024年6月のインド下院総選挙による影響を受け、プロジェクトの進行が鈍化しておりましたが、現在は解消され、政府プロジェクトは順調に動いています。第一弾、第二弾、第三弾とも製品は納品済であり、現在、設置工事と施工を継続中です。

なお、本プロジェクトにおいて納入した浄化槽の概要は下表の通りとなります。

	浄化槽タイプ	直径	全長	本数・個数	処理可能水量
第一弾	円筒形	2.5m	11m	14本	500m ³ /日
第二弾	円筒形	2.5m	10m	14本	500m ³ /日
第三弾	カプセル型	2.5m	5m	22個	300m ³ /日



③ インド・Jal Shakti省主催のワークショップ参加

2024年9月23日・24日に、インド・Jal Shakti省（インド国内の水資源開発や規制政策・プログラム策定等を所管）主催の「排水・環境保護・水保全」に関するワークショップが開催されました。

政府関係者や技術者、関連企業等が参加した本ワークショップにおいて、当社は「インドにおける分散型浄化槽と再利用のための浄化システム」について講演し、実績や事例を上げながら説明し、理解を深めていただきました。

なお、本ワークショップは以前よりDA-INDIAが実証実験および共同研究を行っているインド工科大学ルールキー校（Indian Institute of Technology - Roorkee）にて開催されたことから、同校に設置されている当社浄化槽も見学し、排水処理性能や水質汚染軽減における潜在的な役割について評価いただく機会となりました。



※参照 2020年12月22日「[インド工科大学（IIT-Roorkee校）との実証試験および共同研究について](#)」

④ インド工科大学ハイデラバード校 (Indian Institute of Technology - Hyderabad) との浄化槽性能試験開始

DAIKI AXIS INDIA PVT. LTD. はインド工科大学ハイデラバード校と共同で、浄化槽の性能試験を開始することを決定しました。同大学は工学や科学技術を専門とするインド最高峰の国立教育機関であり、その研究水準は世界的に高い評価を受けております。テスト製品 (処理可能水量10m³/日×1台) は大学への納入が完了しており、今後約1年間にわたり性能試験が行われます。



 PT. DAIKI AXIS INDONESIA <インドネシア>

① スリランカ現地法人スタッフに対する研修実施

2024年7月、PT. DAIKI AXIS INDONESIAの工場において、当社スリランカ現地法人のスタッフを対象に、1週間の研修を実施しました。

この研修では、浄化槽製造における機材・工程・それに付随する書類等をレクチャーすると同時に、スリランカ工場のナショナルスタッフの日常業務に関連するさまざまな作業面や技術面に焦点を当て、スキルや知識を高めることを目指しました。また、単にスキル向上だけでなく、チーム間のコミュニケーションを強化することにも注力しました。

現在スリランカ工場では、小型浄化槽の組立を行っておりますが、市場のニーズに迅速に対応するため、大型浄化槽の製造も視野に入れていきます。適切な製品を適切なタイミングで提供することで、さらなる成長と発展を目指します。



DAIKI AXIS ENVIRONMENT (PVT) LTD. <スリランカ>

① PRIME LAND : PALACE PROJECT (マンション) 【2024年3月公表済】

スリランカで最大手のデベロッパーであるプライムランドより受注しておりましたマンションへの浄化槽納入が2024年6月末に完了し、9月にマンションが完成いたしました。更なる受注につながるよう、引き続きデベロッパーとの関係を築いてまいります。



DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. <バングラデシュ>

① 政府宿舎への浄化槽納入（アリガンジプロジェクト）【2024年3月公表済】

DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. として初受注のアリガンジプロジェクト（政府宿舎への浄化槽納入）は、治安情勢の影響により当初計画から遅延しておりますが、2024年10月完成予定となっております。

② デモ後の街の清掃活動を実施【CSR活動】

2024年7月に発生したデモの影響によってインターネット回線の遮断や外出禁止令の発令などがあり、DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. も一時的に操業が難しい状況となりました。暫定政権樹立以降は落ち着きを取り戻し、世界各国からの援助も広がり復旧を目指している状況です。なお、DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. から暫定政権への働きかけをすでに始めています。

そのような中、デモによって荒れてしまった街の清掃活動をDAIKI AXIS BANGLADESH LTD. の従業員が自発的に取り組み始めました。8月8日、9日には破壊された高速道路の料金所の清掃活動を行い、従業員の他、近隣の大学生や子供達にも参加いただき、その様子が地元ニュースにも取り上げられました。

「街の環境を守り、人々の暮らしをより良いものに変える」

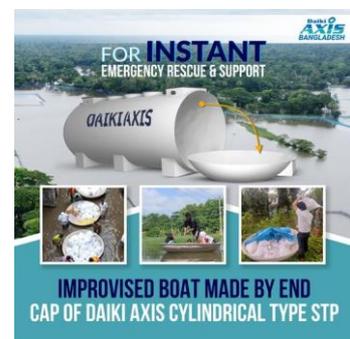
当社グループの企業精神である”PROTECT×CHANGE”を胸に事業活動による水環境の保全だけでなく、企業活動を通じた社会への貢献も果たしてまいります。



③ 洪水での救助ボートで貢献【CSR活動】

2024年8月、バングラデシュの11地区において、一夜にして深刻な洪水が発生しました。しかしながら、地元の救助隊は準備が整っておらず、政府も被害を受けた遠隔地にたどり着くことも、迅速に救援隊を派遣することも難しい状況でした。

そのような状況の中、DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. では、円筒型FRP製浄化槽のエンドキャップを取り外し、救助ボートに改造しました。約800~900kgの荷重に耐えられ、深い場所だけでなく浅瀬でも問題なく移動することが可能であることから、救援隊や救助隊と共に遠隔地へ、多くの救援物資を運搬しました。



④ 洪水での飲料水供給【CSR活動】

上記③の洪水に際し、DAIKI AXIS BANGLADESH LTD. はバングラデシュ軍の協力を得て、ノアカリ県の遠隔地・カビルハットにて、毎時1,000リットル容量の浄水器を設置し、RO膜（逆浸透膜：不純物を除去した水が精製可能）を使って川の水を飲料水化し、地域住民の方々へ提供しました。

洪水時には真水が最も不足し、購入も困難になります。その結果、体調不良者が増加するなど、地

域の人々に深刻な影響を及ぼします。

このような状況の中、空の水差しやボトル、ピッチャーなどを持ち寄った住民の方々へ浄化された安全な水を無料で提供することで、地域の人々の健康を守る支援を行うことが出来ました。



※ ③緊急救助ボートと④飲料水給水の動画もご覧ください。

[DAIKI AXIS BANGLADESH facebook](#)へ



※参照：2024年7月8日公表「[海外における案件の受注および進捗、各国の現状について](#)」

以上

■本件に関するお問い合わせ

①投資家様、報道関係者様からのお問い合わせ

株式会社ダイキアクシス 経営企画部

Email : ir@daiki-axis.com

②当社グループの海外展開に関するお問い合わせ

株式会社ダイキアクシス 海外事業統括部 海外管理部

Email : axis-faq7@daiki-axis.com